



2020年2月14日

各位

会社名 株式会社フジオフードシステム
代表者 代表取締役 藤尾政弘
(東証第一部 コード番号 2752)
問合せ先 取締役 経営企画本部長 九鬼祐一郎
TEL 06-6360-0304

予想値と実績値の差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年11月7日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期の連結業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年11月7日発表)	百万円 40,100	百万円 1,878	百万円 1,879	百万円 793	円 18.43
今回予想(B)	38,393	1,458	1,470	462	10.74
増減額(B-A)	△1,707	△419	△408	△331	-
増減率(%)	△4.3%	△22.4%	△21.7%	△41.8%	-
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	36,145	2,259	2,189	911	21.25

(注) 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

当連結会計年度の業績につきまして、新規出店は計画どおりに推移し、直営既存事業におきましても、さち福やなど一部の業態は堅調な業績で推移しておりました。しかし一方で、主要ブランドであるまいどおおきに食堂や串家物語については、既存店前年比が96%程度と低調でした。また、日韓関係の悪化などによるインバウンド消費の減少や、特に10月からの消費税増税による影響が想定以上のものとなり、売上高の前年同月比において、第4四半期の新店を含む全店ベースで100%を割り込んでしまいました。結果として、利益率が想定を下回る結果となったことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が、それぞれ前回発表予想を下回る見通しとなりました。

以上